

予算要求資料

令和5年度6月補正予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 スポーツ施設整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 地域スポーツ課 スポーツ施設係 電話番号：058-272-1111(内2613)

E-mail：c11172@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 111,084 千円 (現計予算額： 169,504 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	169,504	0	0	0	0	0	0	149,200	20,304
補 正 要求額	111,084	0	0	0	0	0	0	111,000	84
決定額	111,084	0	0	0	0	0	0	111,000	84

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県有スポーツ施設は県内スポーツの先導的な役割を果たす中核施設であるが、老朽化が進行しており、また、競技施設基準の改正、バリアフリーやユニバーサルデザインに対応した改修が必要となっている。

大規模大会が開催できる高水準の施設を維持することに加え、年齢や障がいの有無、性別や国籍にかかわらず安全・安心にスポーツ施設を利用できるよう、長期的な目線で効果的な維持管理を行っている。

これらの県有施設のうち岐阜メモリアルセンターにおいて非常用発電機の故障が発生。現状仮設発電機により対応しているが、早期の復旧に向けて非常用発電機の更新改修工事を行う。

(2) 事業内容

【工事】

岐阜メモリアルセンター非常用発電機改修工事

(3) 県負担・補助率の考え方

県有施設の改修等に係る費用であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	111,084	岐阜メモリアルセンター非常用発電機改修工事
合計	111,084	

決定額の考え方

--

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

主要施設である岐阜メモリアルセンターは建築後34年が経過し、また、最も古い岐阜アリーナは58年が経過するなど、各施設の老朽化が進行している。

そのため、長期的な目線で安全・安心なスポーツ施設の利用のため効果的な修繕や更新を行っていく。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標	
					(R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

施設の修繕にかかる計画策定のため指標を設定することができない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・各設備の改修や更新により安全・安心なスポーツ施設を維持できた。</p> <p>岐阜メモリアルセンター：補助競技場照明設備改修工事 等 長良川球技場：照明設備改修工事 等 スポーツ科学センター：除湿機設置工事 等 長良川スポーツプラザ：避難誘導設備更新工事 等 岐阜アリーナ：防火シャッター改修工事 等 岐阜県グリーンスタジアム：附属棟建設工事 等 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場：計時機器更新工事 等 川辺漕艇場：飛散防止フィルム貼工事</p>
令和3年度	<p>・各設備の改修や更新により安全・安心なスポーツ施設を維持できた。</p> <p>岐阜メモリアルセンター：テニス場照明設備改修工事 等 長良川球技場：散水設備改修工事 等 御嶽濁河高地トレーニングセンター：構内道路等改修工事 等 長良川スポーツプラザ：空調コントロール設備改修工事 等 岐阜アリーナ：防球ネット改修工事 等 岐阜県グリーンスタジアム：外壁改修工事 等 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場：照明設備改修工事 等 川辺漕艇場：防水等改修工事 等</p>
指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %	

令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 2	各県有スポーツ施設は老朽化が進行しており、安全・安心な施設の維持のためには修繕が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	老朽化の進行が著しいが、特に必要を求められるものから、優先的に対応している。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	計画的な事業の実施により、効率化を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 施設の種類が膨大かつ多種(野球場などの運動施設、遊具など公園施設、建築物外壁、消防設備等)に渡るため、改修時期の判断等の見極めが難しい。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後も継続して施設の改修・更新を行い、適切な維持管理を行う。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	—
組み合わせる理由 や期待する効果 など	—